

# 人間文化研究機構ライフイベント期に係る研究支援プログラム実施要項

平成28年3月14日

機 構 長 裁 定

一部改正 平成29年11月13日

一部改正 令和3年3月5日

## 1. 趣旨

人間文化研究機構（以下、「機構」という。）では、出産、子育て、介護（以下「ライフイベント」という。）期における女性研究者の研究を支援することを目的に、必要経費を配分する制度（以下「研究支援プログラム」という。）を実施する。

## 2. 対象者

研究支援プログラムに申請できる者は、機構が設置する大学共同利用機関（本要項において、機構の総合研究推進センター及び情報発信センターを含む。）に所属する研究教育職員又は特任研究員（以下「研究者」という。ただし、産前産後休暇中・育児休業中、介護休業中である者を除く。）のうち、次の各号のいずれかに該当する者（以下「対象者」という。）とする。

### (1) 女性の研究者のうち、次のいずれかに該当する者

- ①妊娠中または小学校6年生までの子を養育していること
- ②市区町村から要介護認定を受けている親族（同居が原則）の介護・看病をしていること
- ③その他上記に準ずる理由により研究活動を行う時間が確保できないこと

### (2) 男性の研究者のうち、前項①～③のいずれかに該当し、配偶者が大学、大学共同利用機関法人、独立行政法人及び国立研究開発法人で研究に従事し、産前産後休暇中・育児休業中、介護休業中でない者

## 3. 支援内容

機構は、ライフイベント期にある研究者の研究活動を支援するため、資料整理等の研究補助業務に必要な経費（以下「支援経費」という。）を措置する。

## 4. 支援経費等

- (1) 支援経費は、支援が決定された研究者1人（1世帯）につき、1年度内100,000円の範囲内で研究者の所属する機関に配分する。
- (2) 支援経費の配分を受けた機関は、支援決定の内容に基づき研究者に研究補助業務を提供するため、配分経費を執行する。

## 5. 申請及び選考等手続

- (1) 研究支援プログラムへの申請は、支援希望の始期の一カ月前までに研究支援プログラム申請書（別添様式1）により、機関の長が機構の男女共同参画委員会委員長宛に行う。

- (2) 研究支援プログラムへの採否及び採択金額については、男女共同参画委員会委員長が、総務担当理事等と協議の上、決定する。
- (3) 研究支援プログラムに採択された場合は、男女共同参画委員会委員長から、研究支援プログラム採択通知書（別添様式2）を、対象者の所属する機関の長に対し通知する。
- (4) 研究支援プログラムによる支援期間終了後、対象者は、研究支援プログラム報告書（別添様式3）により、機関の長を通じて、実施状況の報告を行うものとする。

## 6. 留意事項

- (1) 機関の長は「2. 対象者」で定める申請要件を満たさなくなった場合は、速やかに機構本部へ連絡しなければならない。
- (2) 支援期間終了後、研究支援プログラムによる支援経費に残額が生じた場合は、機関は機構本部へ返納しなければならない。
- (3) 本要項に定めるもののほか、必要な事項は、人間文化研究機構謝金支給基準によるものとする。
- (4) 資料整理補助等謝金については、雇用関係がなく、労災保険・雇用保険適用の対象外となる。そのため、業務従事者に対し、依頼業務実施以外の時間的な拘束をしたり、指揮命令下に置き、研究業務を遂行する手段等を限定したりすることで、裁量性を失わせるような実態がないように留意すること。
- (5) その他、本プログラムの実施に際して留意する事項については、別に定める。

令和 年 月 日

男女共同参画委員会委員長 殿

〇〇〇〇〇長  
(機関の長名)

ライフイベント期に係る研究支援プログラム申請書の提出について

標記について、別添のとおりライフイベント期に係る研究支援プログラムへ申請します。

(担当部署、担当者連絡先)

ライフイベント期に係る研究支援プログラム申請書

令和 年 月 日

1-1. 申請者

所 属

申請者氏名

1-2. 申請区分・申請金額

資料整理等の補助業務に係る謝金

\_\_\_\_\_ 円 ( \_\_\_\_\_ 円 × \_\_\_\_\_ 時間)

請負業務に係る謝金

原稿校閲 \_\_\_\_\_ 円 ( \_\_\_\_\_ 円 × \_\_\_\_\_ 枚)

原稿翻訳 \_\_\_\_\_ 円 ( \_\_\_\_\_ 円 × \_\_\_\_\_ 枚)

その他 ( \_\_\_\_\_ )

2. 利用希望期間 (日数)

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日)

3. 申請者の育児又は介護の現状

(1) 本人もしくは配偶者が妊娠中の場合

出産予定日 令和 年 月 日

(2) ① 子どもを養育中の場合

子と 同居している 別居している

第 子の年齢 就学前 小学校 1~3 年生 小学校 4~6 年生 中学生以上

第 子の年齢 就学前 小学校 1~3 年生 小学校 4~6 年生 中学生以上

第 子の年齢 就学前 小学校 1~3 年生 小学校 4~6 年生 中学生以上

主たる育児者 申請者本人 配偶者 その他 ( \_\_\_\_\_ )

申請者本人が育児に関わる時間等負担の程度

② 介護している場合

要介護者の状態 要介護度 3 以上相当 要介護度 1、2 相当 要支援相当

介護の状況 自宅介護 病院入院中 施設入所

要介護者の年齢 ( \_\_\_\_\_ 歳) ・続柄 ( \_\_\_\_\_ )

主たる介護者 申請者本人 配偶者 その他 ( \_\_\_\_\_ )

申請者本人が介護に関わる時間等負担の程度

[ ]

(3) その他、研究時間の確保が非常に困難な状況等

[ ]

4. 研究費について

獲得研究費による補助者の雇用の可能性

雇用できない 一部雇用可能 大方雇用可能 雇用可能

5. 申請者が男性の研究者の場合は、配偶者についての記載

氏名:

所属・職名:

職務内容(1週間あたりの勤務時間):

6. 研究の現状と、研究支援プログラムに採択されることにより期待される研究の成果

[ ]

7. 業務従事者に係る情報

氏名(性別)	(男・女)
職業(所属)	

8. 今年度中のこれまでの利用状況(今回が初めて・\_\_\_回利用あり)

「利用あり」の場合:	利用月	支援経費配分額	業務従事者名
①令和	年 月	円	
②令和	年 月	円	
③令和	年 月	円	
④令和	年 月	円	
⑤令和	年 月	円	

申請時の添付書類

[  
・妊娠、出産などを確認できるもの(母子健康手帳の必要ページの写しなど)  
・子どもの年齢を確認できるもの(母子健康手帳または住民票の写しなど)  
・要介護認定などを確認できるもの(介護保険被保険者証の写しなど)  
・その他、事情を説明できるもの  
]

ライフイベント期に係る研究支援プログラム採択通知書

機 関

機関長名

殿

男女共同参画委員会委員長

〇〇 〇〇

令和 年 月 日付けで申請のありましたライフイベント期に係る研究支援プログラムについて、下記のとおり採択します。

記

1. 申 請 者
2. 採 択 額
3. その他特記事項

(様式3)

令和 年 月 日

男女共同参画委員会委員長 殿

〇〇〇〇〇長  
(機関の長名)

ライフイベント期に係る研究支援プログラム報告書の提出について

標記について、別添のとおりライフイベント期に係る研究支援プログラムの利用実績を報告します。

(担当部署、担当者連絡先)

## ライフイベント期に係る研究支援プログラム報告書

(報告書提出日)

令和 年 月 日

1. 利用者

所属

氏名

2. 研究支援プログラムによる効果

研究及び育児・介護について、研究支援プログラムを利用したことによる効果を記載してください。

[ ]

3. 業務従事者の業務内容

利用期間全体を通して振り返り、主たる業務内容について記載してください。

[ ]

4. 経費

配分額：

実績額：

差引額

報告時の添付書類

- [ ]
- ・業務従事者の出勤簿の写し
  - ・必要に応じて研究支援プログラムの効果を説明できる書類